2021 年秋 NPO法人子ども支援室カシオペア

「フリースクールカシオペア」ご案内



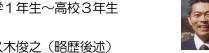
もうひとつの 未来の探し方!

見学&体験は 初回無料(1時間) まずはお電話か メールを下さい。

◆趣旨 小学校・中学校・高校に通う中で、学習や集団生 活、人間関係などでうまくいかなくなった時に、もうひと つの居場所、学習の場として活用していただければ幸いで す。LD、ADHD、ASD(自閉スペクトラム症)の子 も支援します。

刺激の少ない小人数の配慮された環境の中で、話を聞い てもらえる経験、その子に合わせた学習、レクレーション、 「できた」「わかる」「楽しかった」「たくさん話せた」とい う小さな成功体験を積み重ねることは、自己肯定感の育成、 自信につながると思います。小3以降は、家族以外の小集 団の中で認められる経験は成長に不可欠だと考えています。

◆対象 小学1年生~高校3年生



◆担当 中久木俊之(略歴後述)

小林桂代子(特別支援教育支援員養成講座修了)

◆開設日時 月曜日 10:00~11:50 13:00~14:50 火曜日 10:00~11:50 13:00~14:50 水曜日 10:00~11:50 13:00~14:50 終了時に保護者への報告(お話)10分 1対1の場合は1:30 保護者との話10分

◆担当

火曜日午前 中久木、小林 その他 中久木



◆基本スケジュール(午前の例)

10:00 入室 あいさつ 10:05 セッション1 学習1(10分) 10:15 セッション2 レクレーション卓球 10:20 セッション3 学習2(10分)

10:30 セッション4 オヤロ

10:40 セッション5 学習3(10分)

10:50 セッション6 卓球

10:55 セッション7 学習4(10分)

11:05 セッション8 カードゲーム

学習5(10分) 11:15 セッション9

11:25 セッション10 卓球

11:30 セッション11 学習6(10分)

11:40 1日のまとめ 記録用紙記入

11:50 保護者の方へ本日の報告 退所

10分程度の短時間学習を行うのは、意識の疲労を防ぐ ためです。頭が飽和状態になるとクールダウンは必ず必要 です。遊びや軽運動で、積極的に頭の切り替えを促します。

◆利用料

1回3,500円。1時間50分と保護者への報告10分。 ただしマンツーマンの場合は 1 時間 30 分。報告 10 分。 密度が高くなり、本人に負荷がかかるため。 登録費1か月500円、報告書1,000円。

月2回8,500円、月3回12,000円、月4月15,500円 欠席のご連絡は3日前までに連絡いただければ振替OK

◆学習 一人ひとり、オーダーメイドです! 不安やスト レス、学習の負荷を適切にコントロールして、最後は楽し く終わるようにしています。

◇算数の学習(例)

できるところから始めます。余分なことはしないので、 思っているよりどんどん進むことがあります。月3回の学 習で、1年間で、中1から中3までの数学を学習する子は 何人もいました。

足し算は、筆算が負荷が高い子には、そろばんでの足し 算、暗算も試します。そろばんの暗算の方が、ワーキング メモリの負荷が小さくなるからです。

◇国語の学習(例)

言葉の理解力、語彙力を高めることが、すべての学習の 基礎になるので重視します。単語や短文を音読し、理解を 確認していきます。小学4年以降、急速に増えていく言葉 の概念の理解が、その子の思考、文章題の理解、対人関係 の理解に大きく影響すると考えています。

◆報告書

月に1回、作成します。学校に提出すると、校長先生の 判断で、出席日数にカウントされることも増えています。

◆レクレーション

ウノ、トランプなどのカードゲーム、ミニ卓球、キャッ チボール、オセロ、将棋、絵を描くなど。気分転換、おし ゃべりを通じて本人を認めることに重点を置いています。

◆支援で重視していること

本人の注意集中、モチベーションを重視します。学習に 注意を向ける力は人それぞれです。

◆持ち物 筆記用具、水筒。電子ゲーム機や携帯電話、ス マートフォンは持参OKですが、学習中は使えません。 学習に使う場合は使用できます。

◆相談および見学・体験

毎週火、水 12 時~13 時、15 時~16 時など (メール か電話で要予約。別の日時も調整次第で可能)。お子さんと ご一緒にお越し下さい。保護者のみの相談も〇Kです。1 時間。無料。

◆連絡先

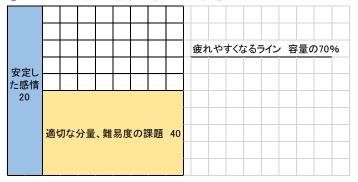
〒456-0024 名古屋市熱田区森後町 7-14 沼田ビル 3階 NPO法人子ども支援室カシオペア

電話 052-228-0842 FAX052-228-0846 kodomosien@gmail.com 地下鉄神宮西駅①出口徒歩1分 JR 熱田駅徒歩5分 名鉄神宮前駅徒歩 10分 コインパーキング近隣に多数あり

□課題処理時のワーキングメモリ使用量概念図(中久木案)

脳の作業領域(ワーキングメモリ)の容量を 100 と仮定

①心理的安全性が確保できている状態



②心理的安全性が確保できていない状態

	不安・ 心配な 感情20					疲れやすくなるライン 容量の70%
		適切な課題の分量 42			12	
		週別な味趣の万里 42				心理的安全性の確保は最重要課題 小3以降は、学校・家庭以外での
						居場所を確保し続ける

口大切なこと

フリーズさせずに、スモールステップで何回も作業する。 繰り返すほど、回路は整備される。

身体が大きくなる中学生頃に大きく伸びることが多いので、地道に小学校時代の心理的安全を確保して成長を待つ。

口利用回数について

月2、3回の利用の子が多い。学習を進めるのであれば 月3回以上が望ましい。居場所中心であれば月2回でOK。

口個別対応

個別対応です。お会いして少しずつ対応を変化、修正していきます。

事例1 小学低学年 読書と気分転換

できる範囲で音読。疲れたらすぐ休憩。気分転換。カードゲームなど。母親同伴のこともあります。

事例2 小学低学年 学校のストレス発散

学校でのストレス発散と承認欲求を満たす目的で 利用している子もいます。

興味のあることが次々に変わってもOKです。

事例3 小学中学年~中学生 特定の話

特定のことを話し続けることもOK。名鉄、ドラゴンズ、レゴなど。少しずつ話の焦点をずらして対応させていただきます。

事例4 小学高学年~中学生 算数がわからない

小3、小4のあたりで算数がつまずいている子は 多いです。マンツーマンの指導だと、理解していく 子がいます。地道にわかるところから行います。

事例5 小学高学年~中学生 言葉の概念を整理

言葉、熟語の意味の理解が不十分な子は、言葉を 少しずつ、読み、書き、意味の確認をしていきま す。文章題を解くための前提条件のひとつです。

事例6 小学高学年~中学生 切り替えの難しい子

切り替えの難しい子は、まずは興味をもってできることから始めます。本人の様子を見て、切り替えのタイミング、別の作業の提案を行います。

事例7 小学高学年~中学生 会話して学習が進む子

会話をしていると、不安感や気になることが減少 し、学習が進む子がいます。遠慮なくおしゃべりし ながら学習します。

事例8 小学高学年~中学生 お腹が痛くなりやすい子

朝は苦手な場合が多いので、午後の時間帯を提案するなど、本人の調子のよい状態に合わせた対応をします。

事例9 計算の苦手な中学生 そろばんで計算

筆算の計算の手順が、負荷がかかりすぎる子は、 視覚のイメージ操作で答えが出せるそろばんを 試します。実際に足し算ができるようになった子 がいます。

事例 10 高校生の不登校

高校生でフリーズし、不登校になる子もいる。まずは本人の気持ちが休まり、落ち着くこと。その後タイミングを見て、今後について一緒に考えます。 一年間利用で、大学に進学した子がいます。

中久木俊之 略歴

1988 年~2006 年、朝日新聞厚生文化事業団にて、発達障害や不登校の小中学生が自己肯定感を育てる「アサヒキャンプ」を担当。2007 年 NPO 法人アサヒキャンプ名 古屋を立ち上げ、事務局長。小5での学校宿泊学習に向けて、大学生多数がサポートして親元を離れる練習になる1泊キャンプなどを行っている。

2010年から春と秋に子ども支援室カシオペア「特別支援教育支援員養成講座」を開催。

フリースクールは 2015 年4月開始。細かく観察、フリーズしないよう、その子に合わせたスモールステップを行い、本人の承認欲求を満たすと自己肯定感、意欲を高め、大きく成長していくと確信している。

◆お問い合わせ

まずは電話かFAXかメールをいただけると幸いです。 教えていただけるとありがたい項目です。

- ◆お名前(ふりがな)
- ◆学校名立 小学校・中学校学年 年 組(通常学級・特別支援学級)
- ◆保護者氏名
 ◆保護者携帯番号
- ◆住所 〒 -
- ◆自宅 TEL - -
- ◆メールアドレス
- ◆問い合わせ内容
- □ 相談 □ 見学 □ 体験 □ その他

時

- ◆相談内容 お子さんの現状と保護者の思い ご自由にお書きください
- CEBICの書るへんでい - ◆希望日時 第1希望 月 日()